

研修レポート

名古屋第一赤十字病院 研修医 2 年目

まず初めに、4 週間の地域医療研修をさせて頂き、ありがとうございました。今回の研修では、普段働いている病院での研修では経験できないようなことが多くあり、いざ終わってみるととても短く感じました。

総合診療科の初診外来で診察をさせて頂き、多くの common な疾患や、特定の疾患と結びつけづらい研修医にとっては難しい訴えに対する診療を経験することができました。その中で勉強になったのは、病歴聴取と身体診察の重要さや検査の意義を考えることです。毎日の振り返りでは、プロブレムに対して何を想起して何を情報として聞き、所見として得るべきか、何の疾患を疑っているから検査が必要か、検査の結果でどうその後の対応が変わるのかを考えるように指摘していただきました。今までの研修生活の診療では、機械的にルーチンで無駄な検査をしたり、必要のない利益の乏しい投薬をしたりといったことが多かったのではないかと反省をする機会にもなりました。また、もう一つ経験になったのは再診でフォローをするということでした。今までは、初期対応が事なきを得て、専門科の先生へバトンタッチすれば自分の役目は終わり、ということばかりでした。今回の研修では初診で診察した患者さんに処方ないし経過観察の方針として、その後どうなったか、経過しだいでどのように対応を変えるかを考えながら再診の経験をさせて頂いたのはとても良い経験になりました。今後、研修医という立場を終えていくに当たって、先を見据えた診療を意識していかなければと痛感しました。

また、印象的だったのは毎朝の勉強会や Up To Date 勉強会、EBM 勉強会と数多く参加させて頂きいただいたことでした。日々の診療で疑問に思ったこと、必要だと思った情報を自ら検索することの重要さを改めて認識しました。調べる手段、吟味の仕方、臨床に活かす方法を、今まで全く身につけられていなかった分、4 週間で少しは勉強できたのではないかと思います。今回教えて頂いたことや、先生方の知識をアップデートする姿勢を、自分自身の今後の長い医師人生に活かさなければと思うと同時に、研修医のうちにこのような機会を得られたことに感謝したいと思います。

また加えて、訪問リハビリや訪問看護、助産所やサマリヤの丘など、恥ずかしながら今まで実態をしっかりと知らなかった部分も見学させて頂き、貴重な経験となりました。

このように有意義な研修が送れたのは、患者様をはじめ、上級医の先生方、そしてコメディカルや事務の方々の協力があったからです。今回得た多くの経験を、是非これからの日々の診療に役立てていきたいと思っています。4 週間本当にありがとうございました。